

Profile



加藤 昌則・作曲家・ピアニスト

Masanori Kato, composer/piano

神奈川県出身。東京藝術大学作曲科を首席で卒業し、同大学大学院修了。

作品のジャンルはオペラ、管弦楽、声楽、合唱曲など幅広く、作品に新しい息吹を吹き込む創意あふれる編曲にも定評がある。福田進一、藤木大地、福川伸陽、三浦友理枝、奥村愛など多くのソリストに楽曲提供をしており、共演ピアニストとしても評価が高い。

2001年デビューCD「SOLO」(アートユニオン)リリース。同CDの収録曲の楽譜集も出版。女声合唱組曲「5つのソネット」や宮本益光作詞による合唱組曲「あしたのうた」など楽譜も多く出版されている。2005年、日本を代表するクラシカル・サクソフォン奏者、須川展也からの委嘱により、「スロヴァキアン・ラブソディ〜サクソフォンとオーケストラのための〜」を作曲、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団の東京公演(サントリーホール)で初演され、その後、須川展也のアルバムにも収録。また2009年ブラティスラヴァにてでも演奏され満場の喝采を浴びた。2006年自身初のオペラ作品《ヤマタノオロチ》を発表、日本経済新聞紙上などで絶賛される。その後も2006年管弦楽曲《刻の里標石(ときのマイルストーン)》(神奈川フィルハーモニー管弦楽団委嘱作品/2008年東京オペラシティコンサートホール開館10周年記念公演にて再演)、2012年「福島復興・復活オペラプロジェクト」オペラ《白虎》(第11回佐川吉男音楽賞受賞)、2013年管弦楽曲《Legends in the Sky》、2014年連作歌曲《二本の木》(王子ホール委嘱作品)、2015年合唱曲《地球をつつむ歌声》(NHK全国学校音楽コンクール小学校の部課題曲)、2018年管弦楽曲《Sixteenth Montage》(セントラル愛知交響楽団委嘱作品)ほか、数多くの作品を発表。NHK2020応援ソング「パブリカ」の合唱編曲も手掛けている。

独自の視点・切り口で企画する公演やクラシック講座などのプロデュース力にも注目を集めており、王子ホール「銀座ぶらっとコンサート Caféシリーズ」(企画・ピアノ)、横浜市栄区民文化センター リリス「リリス芸術大学クラシック学部」(企画・ピアノ)、長野市芸術館「加藤昌則のぶっとび!クラシック」(企画・ピアノ)などを務めている。最新CDは2017年発売「PIANO COLOURS」(エイベックス・クラシックス)。2016年4月よりNHK-FM「鍵盤のつばさ」番組パーソナリティーを担当。2019年〜2023年 長野市芸術館レジデント・プロデューサー。2022年4月よりひらしん平塚文化芸術ホール 音楽アンバサダー。

Official Website ◦ www.masanori-music.com

加藤昌則氏のセミナーの足跡

2015年7月	①「バッハ講座」	2018年8月	⑧「ドヴォルザーク講座」	2022年7月	⑮「ヴェルディ講座」
2015年8月	②「モーツァルト講座」	2019年7月	⑨「チャイコフスキー講座」	2022年8月	⑯「ストラヴィンスキー講座」
2016年7月	③「ベートーヴェン講座」	2019年8月	⑩「ラヴェル講座」	2023年7月	⑰「ラフマニノフ講座」
2016年8月	④「シューベルト講座」	2021年2月	⑪「メンデルスゾーン講座」	2023年8月	⑱「プロコフィエフ講座」
2017年7月	⑤「ショパン講座」	2021年3月	⑫「シューマン講座」	2024年7月	⑲「マーラー講座」
2017年8月	⑥「ドビュッシー講座」	2021年7月	⑬「ベルリオーズ講座」	2024年8月	⑳「R.シュトラウス講座」
2018年7月	⑦「ブラームス講座」	2021年8月	⑭「サン＝サーンス講座」		

Happiness Hill
One Coin Concert